

変異株割合増加 検査数の50%超

神戸市

神戸市は1日、市内の新型コロナウイルス陽性者の検査を調べた結果、1月1日～2月18日までに計36件の変異株ウイルスが確認されていると発表しました。

新規陽性者の6割に実施

検査を担当した市環境保健研究所によると、2月19日以降の検査数に占める変異

陽性者の約5～10%分について変異株の確認検査を実施するよう求めていますが、神戸市では独自に陽性者の約6割を対象に検査を実施。久元喜造市長は1日の記者会見で、「新規感染者の数は減ってきているが、検査数に占める変異株の割合は徐々に増えてきており、直近では半数を超えているとしています。

国は全国の地方衛生研究

所などに、新型コロナの全異株の状況を把握すること

はリバウンドを防ぐために変異株は8人（検査数に占め

る変異株の割合4・6%）を確認。2月5日～11日は175人のうち105件（60・0%）を検査。変異株の陽性者は1962人に対し変異株検査を677件実施。陽性者に占める検査数割合は34・5%で変異株の確認数は0でした。その後、1月29日～2月4日には新規のうち79件（64・8%）検査し、変異株感染は12人（15・2%）となっています。19日以降の直近のデータはまだ公表されていません。

変異株の感染が確認され

た36人のうち、31人が英国株で、のこり5人は国立感染症研究所が報告している新たな変異株でした。